

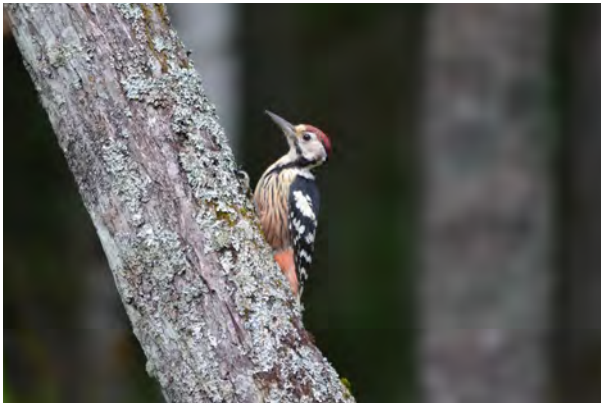
2015年9月号

9月15日(火)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

月刊 温根内通信 No. 228



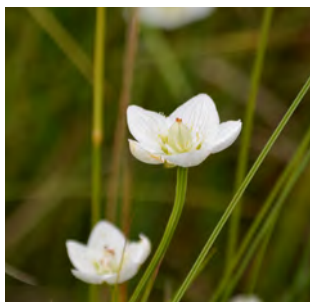
秋の気配…

「お盆を過ぎるともう秋」とよく言われる北海道ですが、今年はまさにその通り。8月20日を過ぎると朝晩の気温が下がり、昼間も20℃前後の過ごしやすい(肌寒い?)日が続きました。それとともに湿原は少しずつ色あせはじめ、いつの間にか秋の花々が咲き始めました。湿原では目立たないヨシの花が咲き、いよいよ秋本番です。

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



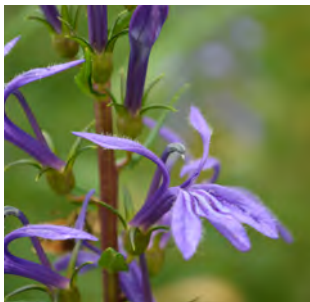
～温根内探勝木道周辺の植物～



【ウメバチソウ】
ニシキギ科 梅鉢草
花のシーズンを締めくくる
釧路湿原の秋を代表する白
く美しい花です。ヨシ・ス
ゲ湿原で10月初旬頃まで
見られます。



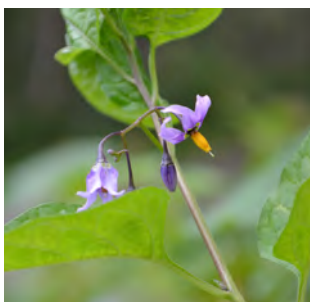
【エゾリンドウ】
リンドウ科 蝦夷竜胆
ミズゴケ湿原周辺のハンノ
キ林内で見られます。根が
苦く胃薬になり、漢方では
竜の胆に見立てて「竜胆」
の漢字が当てられました。



【サワギキョウ】
キキョウ科 沢桔梗
ヨシ・スゲ湿原で見られます。
青紫色の花は秋の湿原を美
しく彩ります。最近エゾシカ
の食害が目立っている気が
かりな種でもあります。



【コガネギク】
キク科 黄金菊
ミズゴケ湿原と鶴居軌道跡
で見られる変異の大きなキ
ク科の多年草です。黄色い
花は色あせてきた湿原の中
で秋を演出しています。



【オオマルパノホロシ】
ナス科 大円葉檉
VC 周辺の日当たりの良い
鶴居軌道跡で見られます。
昨年は見つけれず、今年
は開花して3日でエゾシカ
に食べられてしまいました。



【エゾトリカブト】
キンポウゲ科 蝦夷烏兜
鶴居軌道跡で見られます。
強い毒を持っていることで
有名ですが、烏帽子型で青
紫色の花は湿原周辺の秋を
代表する美しい花です。

○表紙の写真 上:ヨシ・スゲ湿原 中右:ヤマハハコ 中左:オオアカゲラ 下:エゾシカ

～温根内探勝木道周辺の野鳥～

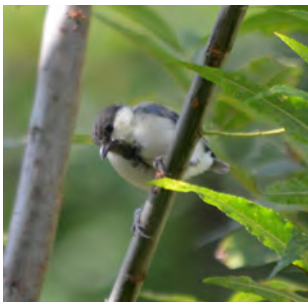
ビジターセンター周辺ではカラ類が集まりはじめ、混群を作り始めています。混群をよく見ると渡りの準備をしている夏鳥が混ざっていたりするので油断できません。そろそろ上空では群れで南下する旅鳥たちの声も聞こえてくるはずです。ビジターセンターでは無料で双眼鏡を貸し出しています。お気軽にご利用ください。



【アカゲラ（幼鳥）】
キツツキ科 赤啄木鳥 留鳥
鶴居軌道跡やハンノキ林で見られます。この個体は額に赤い羽毛が残っているのが今年生まれの幼鳥と思われる。



【オオアカゲラ】 大赤啄木鳥
キツツキ科 留鳥
鶴居軌道跡やハンノキ林で時々見られます。アカゲラよりも大きく、胸に縦斑があり、背中逆ハの字の白斑が無いことで区別できます。



【シジュウカラ】 四十雀
シジュウカラ科 留鳥
ビジターセンター周辺で頻繁に見られる野鳥です。この個体は全体的に色が淡いので、今年生まれの幼鳥と思われる。



【コサメビタキ】 小鯨鰯
ヒタキ科 夏鳥
ハンノキ林や鶴居軌道跡で見られる目立たない鳥です。林内を飛び回り虫を捕え、秋の渡りに備えて栄養を蓄えています。

○温根内探勝木道周辺で観察された花（8月15日～9月14日）※和名は五十音順

■アキノウナギツカミ ■アメリカセンダングサ ■イチゲフウロ ■イヌタデ ■イワアカバナ ■ウド ■ウマノミツバ ■ウメバチソウ ■エゾイヌゴマ ■エゾイラクサ ■エゾオヤマハコベ ■エゾゴマナ ■エゾシロネ ■エソトリカブト ■エゾナミキ ■エゾノコギリソウ ■エゾヤマアザミ ■エゾリンドウ ■オオアワダチソウ（確認後引き抜き） ■オオダイコンソウ ■オオバコ ■オオバセンキュウ ■オオマルバノホロシ ■オオヨモギ ■オトギリソウ ■カタバミ ■キツネノボタン ■キツリフネ ■キンミズヒキ ■クサフジ ■クサレダマ ■クルマバナ ■ゲンノショウコ ■コウゾリナ ■コガネギク ■ゴキツル ■コハコベ ■コメツブツメクサ ■サラシナショウマ ■サワギキョウ ■シオガマギク ■シロイヌナズナ ■シロツメクサ ■セイヨウタンポポ ■セリ ■タニソバ ■チドリケマン ■ツメクサ ■ツリガネニンジン ■ツリフネソウ ■トウヌマゼリ ■ドクゼリ ■ナガボノシロウレモコウ ■ナズナ ■ネジバナ ■ノハラムラサキ ■ハナタデ ■ハンゴンソウ ■ヒメジョオン ■ヒヨドリバナ ■ヒロハヒルガオ ■ヘラバヒメジョオン ■ホザキシモツケ ■ホソバアカバナ ■ホソバノヨツバムグラ ■ミズ ■ミゾソバ ■ミツバフウロ ■ミツバベンケイソウ ■ミツモトソウ ■ミミコウモリ ■ムラサキツメクサ ■メマツヨイグサ ■モウセンゴケ ■ヤナギタンポポ ■ヤブジラミ ■ヤブハギ ■ヤブマメ ■ヤマハギ（木本） ■ヤマハハコ ■ヨシ

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥（8月15日～9月14日）※和名は日本鳥類目録第7版の順

■マガモ ■キジバト ■アオサギ ■タンチョウ ■クイナ ■オオジシギ ■トビ ■オジロワシ ■チュウヒ ■ノスリ ■コゲラ ■オオアカゲラ ■アカゲラ ■ハシボソガラス ■ハシブトガラス ■ハシブトガラ ■ヒガラ ■シジュウカラ ■ショウドウツバメ ■ヒヨドリ ■ウグイス ■エナガ ■エゾムシクリ ■センダイムシクイ ■シマセンニュウ ■コヨシキリ ■ゴジュウカラ ■キバシリ ■ムクドリ ■アカハラ ■ノゴマ ■ノビタキ ■コサメビタキ ■カワラヒワ ■ベニマシコ ■アオジ ■オオジュリン

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

※温根内木道周辺に咲いている花を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

☆☆☆☆自然ふれあい行事が開催されました☆☆☆☆



○「ザリガニウォッチング」 参加者数：20名
8月16日（日）、特定外来生物のウチダザリガニ駆除を体験するイベントを開催しました。最初にビジターセンターでウチダザリガニと釧路湿原の外来生物について学んでから、ビジターセンターから300m程のところにある温根内川の支流で釣り竿を使ってザリガニの捕獲を体験しました。当日は天候に恵まれましたが、水温は低く、ザリガニの動きが鈍かったようで、釣果は17匹。捕獲後は参加者全員でじっくりと観察し、背ワタを抜いて処分しました。講師：山岸彬 本藤泰朗



○「秋の湿原花ハイク」 参加者数：5名
9月13日（日）、花の季節が終盤を迎えた湿原で、秋の花と植物の果実の観察会を実施しました。ミゾソバやサウギキョウ、花が終わって目立たなくなったカキツバタやタヌキモなどが、子孫を遺すために様々な戦略を持っていることを観察しました。また、湿原の花のシーズンを締めくくる代表的な花であるウメバチソウをじっくりと観察して秋を実感しました。また、満開でも見向きもされないヨシの花をルーペでじっくりと観察し、花の仕組みが分かると、参加者も新鮮で驚いていたようです。講師：本藤泰朗

☆☆☆☆イベントのご案内（10月）事前の申し込みが必要です☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み☎0154-65-2323
♪ザリガニウォッチング2～ニホンザリガニ編～
〔日時〕10月18日（日）10:00～12:00 〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）
〔参加費〕無料 〔場所〕温根内ビジターセンター
釧路湿原に生息するニホンザリガニ（絶滅危惧Ⅱ類：VU）はどんな生き物なのでしょうか？生態を知り、どのような環境で暮らしているのかを観察します。

○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み☎015-487-3003
♪羊毛でフェルト小物を作ろう
〔日時〕10月17日（土）13:00～15:00 〔定員〕8名（小学生は保護者同伴）
〔参加費〕600円（材料費） 〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター
.....
♪バードカービング講座1回目（全5回：10/19、11/16、12/14、1/25、2/22）
〔日時〕10月18日（土）10:00～15:00 〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）
〔参加費〕4500円（材料費） 〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター
※全5回の開催です。詳細はエコミュージアムセンターまでお問い合わせください。

～スズメバチにご注意を！～



キオビホオナガスズメバチ

秋はスズメバチが活発に活動する時期です。木道を歩く際には黒い服装をできるだけ避け、匂いの強い香水も控えるようお願いします。

.....
月刊 温根内通信 No.228
発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター
〒085-0036 北海道阿寒郡鶴居村字温根内
Tel：0154-65-2323 Fax：0154-65-2185
E-mail：ovc@hokkai.or.jp
ホームページ：http://city.hokkai.or.jp/~kkr946/
Facebook：https://www.facebook.com/Onnenai.VC
開館時間：10:00～17:00（11月～3月は16:00まで）
休館日：毎週火曜日（12/29～1/3は休館）入館無料
.....